

第 61 回全国高等学校軟式野球選手権 東中国大会 準決勝

2016 年 8 月 1 日

矢掛高校 V S 新見高校

@倉敷マスカットスタジアム

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
矢 掛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新 見	0	0	0	0	0	0	1	0	×	1

矢 三澤魁太 — 林

矢掛高校の命運を託された先発は、エースの 2 年生右腕：三澤魁太（真備中）。

- 1 回表、矢掛高校の攻撃。竹井（美星中）の三直など鋭い当たりが見られたが、三者凡退となる。
- 2 回表、矢掛高校の攻撃。一死から福尾（井原中）が死球で出塁するが併殺となり無得点。
- 2 回裏、新見高校の攻撃。二死から相手投手に一塁線を抜かれ三塁打とされピンチを招く。しかし次打者を三振に仕留め無失点で切り抜ける。
- 3 回表、矢掛高校の攻撃。先頭が多賀圭吾（矢掛中）が左前打で出塁する。その後、三振併殺で無得点。
- 3 回裏、新見高校の攻撃。二死から左越二塁打を放たれるが、次打者を飛球で抑える。
- 6 回表、矢掛高校の攻撃。先頭が多賀圭吾が右前打で出塁。続く三澤魁太の犠打と片岡（矢掛中）の進塁打により好機を迎える。ここで、好調の林（真備東中）が打席へ。しかし、敬遠で二死一・三塁となる。盗塁で二・三塁とするが、後続が倒れ、得点を挙げられない。
- 7 回表、矢掛高校の攻撃。先頭の山木（美星中）が死球で出塁するが後続が続かない。
- 7 回裏、新見高校の攻撃。一死から内野安打で出塁を許し、左前打と死球で満塁のピンチを迎える。次打者のエンドランによりホームへ生還される。次打者に粘られるも三澤魁太が踏ん張り最少失点に抑える。
- 8 回表、矢掛高校の攻撃。先頭打者の多賀圭吾が得意の小技で、この日猛打賞となる内野安打を放ちで出塁。続く三澤魁太の犠打と片岡の進塁打により三度目の好機を迎える。続く林が二度目の敬遠をされ再び二死一・三塁となる。さらに盗塁で、相手にプレッシャーをかけるが、一本が出ず無得点。
- 8 回裏、新見高校の攻撃。先頭打者を四球により出塁を許し、次打者の内野ゴロで併殺を狙うが走者のみアウト。続く 4 番打者の鋭い当たりを遊撃手：片岡が弾くも、気持ちを切り替え、次打者を片岡の華麗なプレーで併殺とし、無失点に抑える。反撃を祈る。
- 9 回表、矢掛高校の攻撃。ここで代打の切り札：温井（井原中）が登場するも快音が響かない。次打者：三澤大地（真備東中）が抜群の選球眼で四球を選ぶも、犠打失敗で二死一塁。続く多賀尚（矢掛中）は初球を左前に運び、二死一・二塁の好機を迎える。ここで続く打者は今大会五打数五安打で打率 1 0 割の多賀圭吾。しかし、最後は二飛に抑えられ、ゲームセット。

矢掛高校は新見高校に 0-1 で惜敗した。今まで高い壁だった新見高校にあと一歩で力が及ばなかった。3 年生の多賀圭吾は猛打賞だったが、得意の機動力が機能せず、無得点に終わってしまった。エース：三澤魁太を中心に 2 年生がチームを支えてくれ試合を存分に楽しむことができた。ここで 3 年生、選手 8 名：マネージャー 3 名は主将の林を中心に全国大会出場を目指してきたが、引退となった。今まで温かい応援を本当にありがとうございました。地域の方、OBOG の皆さん、保護者、先生方、生徒のみんな、そして吉岡監督、柴崎先生に感謝しています。今後とも矢掛高校軟式野球部の応援をよろしくお願いします。後輩たちは、新主将：山室を中心に全国大会出場を目指して日々の練習に取り組んでほしいと思います。（文責：片岡永翔、那須春花）

新チームの戦績 **21** 勝 **17** 敗 **5** 分